

ひと・ふれあいセンター

☎072-422-7523

新春ときわ寄席



▶日時 1月18日(土)午後3時～5時▶場所 やすらぎ老人福祉センター▶内容 「手水廻し」笑福亭笑有様、「厩火事」桂佐ん吉様、「荒大名の茶の湯」旭堂南麟様、お楽しみ抽選会▶入場料(木戸銭) 500円▶申込 不要

手作りみそ講座

▶日時 1月24日(金)・25日(土)午前11時～午後1時(いずれか1日)▶場所 ひと・ふれあいセンター▶講師 西谷仁美様(管理栄養士)▶定員 各10人(多数の場合は抽選、初めての方優先)▶材料費 2,100円▶持物 エプロン、三角巾、飲物、手ふきタオル、3リットル以上のタッパー▶申込 窓口・電話・メールで▶締切 1月20日(月)



メール

今、注目!グルテンフリー
～米粉で作るどら焼き、みたらし団子～



▶日時 2月3日(月)午前10時～正午▶場所 ひと・ふれあいセンター▶講師 井戸利佳様▶定員 12人(多数の場合は抽選)▶材料費 700円▶持物 エプロン、三角巾、飲物、手ふきタオル▶申込 窓口・電話・メールで▶締切 1月27日(月)



メール

アニメ「めぐみ」

拉致被害者御家族ビデオメッセージ上映会

アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いたドキュメンタリー・アニメです。

拉致被害者の一日も早い帰国をめざし、拉致問題に関する府民の認識と理解を深め世論を高めるため、上映会が開催されます。

日時 1月16日(木)午後2時～4時
場所 八尾市文化会館プリズムホール 小ホール
定員 300人(当日先着順)
申込 不要
問合せ先 大阪府人権企画課☎06-6210-9280、Fax06-6210-9286

要申込

じんけん啓発セミナー
女と男のフォーラム

【申込・問合せ先】
人権政策課
☎072-433-7160
Fax072-433-7511

▶時間 午後1時30分～3時▶場所 市役所5階大会議室B▶定員 各30人(定員になり次第締切)▶申込 住所・氏名・電話番号・希望日を電話・ファックスで(1回だけの参加も可)
※手話通訳・点字資料を希望する方は、開催日の10日前までにご連絡ください。

日 程	内 容
1月22日(水)	僕は絵本の中で初めて出会った～食肉業の取材と差別～ 中川洋典様[絵本作家]
1月31日(金)	インターネットと人権 石川千明様[(公財)人権教育啓発推進センター特任講師]
2月4日(火)	防災対策について考えよう～男女共同参画の視点から～ 大槻由美様[NPO法人とれじゃーBOX理事長]
2月7日(金)	金融リテラシーと人権 馬場聡子様[J-FLEC講師]

ス ポ ー ツ

スポーツ振興課☎072-433-7121

トレーニング器具講習会

日 曜 (午前10時～正午)	金 曜 (午後6時30分～8時30分)
1月26日	1月17日
2月23日	2月21日
3月30日	3月21日

受講者にはトレーニング室使用許可証を発行し、以後1回300円で使用できます。講習会当日には写真(縦2.5cm×横2cm)を持参してください。

▶場所 総合体育館▶対象 中学

卒以上の方▶定員 各10人(定員になり次第締切)▶申込 講習会前日までに総合体育館窓口・電話(☎072-433-7120)へ

市民空手道大会

詳しくは、総合体育館にある要項または連盟ホームページをご覧ください。

▶日程 3月9日(日)▶場所 総合体育館▶対象 市内在住・在勤(学)の方▶締切 2月3日(月)
▶問合せ先 空手道連盟(黒木)
☎090-3289-7594

第32回KIX泉州国際マラソン大会

今年は、関西国際空港開港30周年記念特別大会として「りんくう公園内特設周回コース」で開催します!!

詳しくは、二次元コードをご覧ください。

▶日程 2月9日(日)▶問合せ先 KIX泉州国際マラソン実行委員会設立準備委員会事務局(泉佐野市スポーツ推進課)☎072-462-2000



ホームページ

自 然 遊 学 館

☎072-431-8457 火曜休館
メール: shizen.desk@icloud.com

打ち上げ貝拾い

冬の北西風によって打ち上げられた貝を拾い、自然遊学館に持ち帰り名前を調べます。紙皿を使い貝の標本作りもします。

▶日時 1月25日(土)午後1時～3時30分(小雨決行、大波中止)
▶場所 近木川河口右岸・自然遊学館▶講師 児嶋格様(日本貝類学会員)▶締切 1月19日(日)

◎いずれも ▶対象 どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
▶定員 20人(多数の場合は抽選)▶申込 住所(番地以下不要)・氏名(参加者全員)・学年を記入しメール・窓口で

西鳥取漁港ノリすき体験



西鳥取漁港でノリすき体験をし、板ノリを作ります。「ノリと食育」の話も聞きます。

▶日時 2月1日(土)午前10時～正午(雨天中止)▶集合 南海本線鳥取ノリ駅▶場所 西鳥取漁港、名倉水産(阪南市鳥取)▶講師 名倉勲様(名倉水産代表)▶参加費 300円▶締切 1月26日(日)

生きものだいすき! 「ヘビトンボ」

孫太郎虫(まごたろうむし)



昔から伝わる日本の生薬に「孫太郎虫」というものがあります。子どもの疳(カン)に効く薬だそうです。

「虫」とつくだけにその正体は何か? アミメカゲロウ目のヘビトンボという昆虫の幼虫です。ヘビトンボは、成虫がトンボのような翅(はね)をもち、幼虫の頭が扁平でヘビの頭に似ていることがその

名の由来です。幼虫は他の水生昆虫や小動物を捕食し、清流の川で石をめぐると見つけることができます。その姿はムカデにも似ていて、「川ムカデ」とよばれることも。その幼虫を黒焼きにし、粉にして服用するのだそうです。食料危機を救うだとか、怖いもの見たさや罰ゲームの「昆虫食」よりずっと前から、こうして虫と関わってきたのです。日本人が独自に育んだ昆虫との関係性は非常に興味深く、本種の他にもまだまだあり、大正時代、日本には食用昆虫が55種、薬用昆虫が123種あったそうです。

日本では、「〇〇の幼虫」とよぶのではなく、先月号のアリジゴクや今回の孫太郎虫、トンボのヤゴに、尺取虫など、幼虫の发育段階であたかもそれが完成した生物かのような名称を与えています。それだけ昆虫が身近な存在として認識されていたのだと思います。

一方で、「孫太郎虫の親」のヘビトンボはどのような暮らしをしているのでしょうか。近年、日本の研究で、ヘビトンボの成虫が花を訪れ、花粉を食べる種がいることが世界で初めて発見されました。このように、嚙猛(どうもう)そうに感じる昆虫が花粉媒介に一役買っているなんて。地球を支えている昆虫のすごさがうかがえます。